

料理しながら妻の回復願う

福島由男 81

(倉敷市)

倉敷に移り住んで7

折、救急車のお世話にもなり、突如入院しました。

料理は私が全部1人ですることになりました。私は6年前、男の料理教室に参加したことがあります。参加は思いつきだったので、今思えば、料理の初歩から教わったことが、今こんなに役に立つとは思ってもありませんでした。

年。その間、転倒と入院を繰り返してきた妻が、デイサービスに行くようになって少し元気になったように思える昨今でした。ところが、妻がちよっとしたことで転倒して骨

先日の本欄で、1人で料理を作り、いろいろ工夫しておられる方の投稿を読みました。私も、最初から上手にできるわけがない、何回も作りながら応用することが、また新しい発見だと思っております。

妻が早く回復して帰

宅することが願います。そして、帰宅した妻との生活を何か新しい気持ちで元気に頑張ることが、多くの人に支えられたことへの恩返しだと思っております。